

【議事概要】 第 30 回那覇市危機管理対策本部会議（新型コロナウイルス感染症）

会議名	第 30 回 那覇市危機管理対策本部会議（新型コロナウイルス感染症）
日時	令和 3 年 10 月 29 日（金） 午後 1 時 00 分 ～午後 2 時 00 分
場所	本庁舎 4 階 議会会議室

**【議事概要】**

本部長（城間市長）コメント

- 沖縄県では、「緊急事態宣言」が終了した 10 月 1 日以降も継続して感染状況の改善が見られることから、飲食店への営業時間短縮要請等について、11 月以降は解除することを決定しております。また、県の警戒レベルも第 3 段階の「感染流行期」まで引き下げられました。
- 本市においても、一日最大 208 人（8/25）を記録した新規陽性者数は、直近一週間は一桁まで減少しております。本市の全人口に対するワクチン 2 回目接種率は 64.0%で、さらに 12 歳以上の接種対象者に限定すると 72.5%に達しており、ワクチン接種率の向上が大きく影響したものと思われます。
- 5 月以降、各部局においてワクチン接種業務に精力的に取り組んで頂いたことに改めて職員の皆様に感謝いたします。また、医療従事者に対しても深く感謝申し上げます。
- そして、何よりも感染状況の改善については、市民の皆様の多大なご協力と感染対策の徹底の表れだと認識しており、感謝申し上げます。
- 県民、市民の皆様におかれましては、県内全体の流行が収束するまでは、油断せず、基本的な感染対策を引き続き実施して頂き、新型コロナ感染症流行以前の日常生活を取り戻すためご協力をお願いいたします。

番号	案件名	対処方針等
1	新型コロナ感染状況について	<p><b>【健康部長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[資料1-1]（新型コロナウイルス感染症の状況（令和3年8月30日～10月27日））、[資料1-2]（那覇市における新型コロナウイルス感染症の状況（令和2年10月1日～令和3年10月27日））、[資料1-3]（年代別の接種状況）を用いて現状について説明。</li> <li>・集団接種会場も12月5日を最後に閉じるが、推進室では、11月7日に那覇メインプレイスで接種券なしで集団接種を計画している。</li> </ul> <p><b>【保健所長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一桁がしばらく続くと思うがワクチンの免疫効果が薄れてくるのでウイルスが盛り返すと感じている。</li> </ul>
2	11月からの公共施設の対応方針について	<p><b>【総務部長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[資料 2] 20211101 以降沖縄県対処方針について説</li> </ul>

		<p>明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従前から県の方針に倣っているが、今回も県の方針に倣って対応する。</li> <li>・ [資料 2] 20211101 以降沖縄県対処方針の (PDF [P9]) にある会食 (飲食) について、従前との違いは「できるだけ」という言葉が入っているが「できるだけ」とあるのでフルオープンではなく良識をもった対応を求める。</li> <li>・ 県は職員に対する通知を出す予定、市も県に準じて、市の職員に対して同じ方針で通知を出す予定となっている。</li> </ul>
<p>3</p>	<p>経済政策について</p>	<p>【経済観光部 副部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なはとまーるクーポン事業について、市内の施設料から 5 千円を上限に割引、お土産屋やアクティビティで利用できる 4 千円分のクーポン券を発行する。 10/11 から予約を開始しており、2 万泊の内、8 割以上の 1 万 7 千泊の予約がなされている。10/31 まで市民優先予約期間とし、11/1 以降は県民に対象拡大を予定していたが 8 割以上埋まっているので、いったん 10/31 で予約を停止する予定。予算を拡充し 11/8 以降約 2 万泊を県民対象に予約再開することを予定している。</li> <li>・ なはかえーる商品券事業について、買うとエールを贈るという言葉でかえーる商品券としている。プレミアム率は 30%。1 万円で 1 万 3 千円の商品券が購入できる計算となっている。電子の商品券と紙の商品券を用意するが、基本的には電子を優先して販売し、電子で購入できない方に紙を発行する。初めに、那覇市民を優先に販売を予定。購入限度額は、電子 5 万円、紙 3 万円とする。予約が多ければ抽選又は限度額引き下げ等の対応を考えているが、基本的には枠内に収まると考えている。大規模店舗に偏った利用とならないよう 1 万円で 1 万 3 千円分購入できる利用券のうち、約 70% の 9 千円分を共通商品券として大規模店舗で利用できる券とし、残り 4 千円は中小店舗でのみ利用できる券のセットにして販売する。</li> </ul>